

JACET Kansai Newsletter

No. 66 July 27, 2013

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学 理工学部 11号館 照井雅子研究室内

(Chapter Office: c/o Masako Terui, Faculty of Science and Engineering, Kinki University)

E-mail: jacetkansaichapter@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

舞妓さんに誘われて

理事 木村博是

JACET 第 52 回国際大会が近づいてきました。8 月 30 日 (金) から 9 月 1 日 (日) までの 3 日間、京都大学吉田キャンパスにて開催されます。私は理事として、この 2 年間、国際大会組織委員会担当理事の任に当たらせていただいていますので、今年の大会について、その特徴などを述べたいと思います。

1. 日常からの脱出

夏休み中のひと時を京都へ出かけてみませんか。人と出会い、新しい考え方や言語に触れ、有意義なひと時を過ごしてみませんか。

This music crept by me upon the waters,
Allaying both their fury, and my passion,
With its sweet air: thence I have follow'd it,
Or it hath drawn me rather, — but 'tis gone,
No, it begins again. (The Tempest i. 2)

(この音楽が水の上を忍び寄って来て、美しい音色で荒波と私の悲しみを鎮めてくれた。それから後を追って、というよりむしろ引きずられて来たのだが、それは消えてしまった。いやまた始まった。)

これは、シェイクスピアの戯曲テンペストで、音楽に導かれて嵐の海から島に辿り着いたファーディナンドが言うセリフです。これが京の町なら、きっと華やかな振袖にだらりの帯、ぽっくり履いて花かんざしを揺らす舞妓さんの心地よい京ことばに誘われ、心満たされるはず。日常から離れて心身を解放する、なによりの機会です。決まり切った日常の中で、知的好奇心を持って非日常的な空間に身を置くことができます。それが学会です。夏休みのひと時、日常から脱出し、ちょっとした新しい発見や感動を体験してみましょう。

2. 関西支部担当は 7 年ぶり

全国大会は 2 年前の第 50 回国際大会より、名称を国際大会とすることになりました。大会は 7 支部 (北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州・沖縄) が順次担当しています。前回、関西支部が担当したのは第 45 回大会で、2006 年 9 月 8・9・10 日に開

西外国語大学で開催されました。大会テーマは「授業力—大学全入時代の大学英語教師—」で、その時の参加者は 856 名、128 件の発表がありました。それから 7 年が経ち、京都大学で開催されます。

3. 着実な準備

本部の馬場千秋先生を委員長とする国際大会組織委員会のメンバー、野口ジュディー支部長をはじめ関西支部役員の方々、とりわけ大会の企画立案、実行に向けて用意周到な準備をいただいている会場校の田地野彰先生、金丸敏幸先生、高橋幸先生や関係者の献身的な努力により、従来とは趣を異にした、壮大なスケールでの大会の準備が着実に進んでいます。

4. 大会テーマ

大会では、今日の日本はもちろん世界の高等教育におけるコミュニケーション能力の問題点と課題を考えてみることにあります。特に英語教育の関連分野の学会の代表者を招いて「英語教育の連携と相対比」 Collaboration and Relativization in English Language Education というテーマで、大学英語教育の新しい方向性について議論を深めることとなります。

5. はじめての試み

Session 1 「国内関連学会代表者からの英語教育への提言」
4 つの学会の代表の方から、大学英語教育をはじめとして日本の英語教育全般に関して要望や助言をいただきます。①英語学・言語学の見地から、英語教育が今後いかにあるべきか。②人間の精神や存在の根幹としての文学が、英語を使ったコミュニケーションにどのように表れてくるか。③ICTをはじめとする情報処理や教育工学が、どのように言語教育にも寄与貢献しているか。④グローバル人材育成に焦点をあてた、文科省・厚労省・企業の観点など。提案者は大津由紀雄氏 (日本英語学会)、佐々木徹氏 (日本英文学会)、永野和男氏 (日本教育工学会)、山内ひさ子氏 (大学英語教育学会) です。

Session 2 「国内英語教育学会長によるこれからの英語教育のあり方—Session1 の提言を受けて」

英語教育学の団体として、各学会の存在意義の再確認を行います。今日的課題に対して、英語教育学者として社会へのメッセージの出し方(入学試験のあり方と学会としてのスタンスを例として)について提案をします。そして諸課題の解決に向かうための各学会の役割と学会連携の可能性を探ります。提案者は卯城祐司氏(全国英語教育学会)、竹内理氏(外国語教育メディア学会)、Kevin Cleary 氏(全国語学教育学会)、神保尚武氏(大学英語教育学会)です。

6. 多彩なプログラム

大会プログラムは、基調講演3件、全体シンポジウム2件、関西支部企画シンポジウム1件、関西支部特別ワークショップ2件、グローバル人材育成シンポジウム1件、団体会員特別ワークショップ1件、招待講演9件、一般発表151件(内訳:研究発表97件、実践報告19件、ポスター発表9件、賛助会員発表7件、シンポジウム14件、ワークショップ5件)、さらに大会特別企画として「グローバル人材育成のための大学英語教育の取り組み」というテーマでポスターセッション85件が行われ、合計255件に及びます。

7. Selected Papers の発行

今回の大会からプロシーディングスがなくなります。それに替わり国際大会での研究発表者が応募できる Selected Papers が発行される予定です。Submission Guidelines については検討中です。

8. 大会を彩る特別ハイライト

お能のご披露、そして舞妓・芸妓さんがやって来ます。

(1) 「お能を楽しむ」(Introduction to Noh Theatre)

日時: 8月31日(土) 17:30-18:30

場所: 京都大学時計台百周年記念ホール

お能(観世流)を少しでも理解し楽しんでいただけるように、お能を少しご披露し、英語で解説をします。世界無形文化遺産に登録されている、日本が世界に誇る伝統芸能の魅力に触れてください。

(2) 舞妓・芸妓さんと共に

日時: 8月31日(土) 18:30-20:30

場所: 京都大学時計台国際交流ホール(懇親会場にて)

京文化を代表して、格式ある祇園甲部より選りすぐりの舞妓2名、芸妓1名の計3名の方が懇親会に参加してくれます。変身ではなくて本物の芸舞妓さんです。ご期待ください。

叡智を集結した第52回国際大会です。京大のシンボルである時計台のある百周年記念ホールで行われる講演やシンポジウム。しかも京都らしく、お能や芸舞妓さんに出会えます。支部会員のみなさまが大会に参

加し、ちょっとした感動を味わい、楽しい3日間を過ごされることを願っています。

■ 2013年度第1回支部講演会の報告 ■

JACET 関西支部 2013年度第1回講演会(招聘講師による講演)が、2013年7月13日(土)に同志社大学今出川キャンパス寧静館 504号教室で開催されました。

司会: 野口 ジュディー 先生(武庫川女子大学)
講師と演題:

福井 希一 先生(大阪大学大学院工学研究科)

「英語教育:自然科学系教育に占める位置と動向」

ご専門であるバイオテクノロジー分野での長年のご活躍に加え、文部科学省の現代GPプロジェクトである英語教育のプロジェクトに責任者として約10年間携わったご経験に基づき、専門分野の教員の立場から、大学英語教育に求められる学習目標や、専門分野の先生方と英語教員の役割など、英語教育のあり方に関する本質的な示唆をいただきました。また、具体的に効果的な教材のご紹介と無償利用のご案内をいただきました。参加者一同、福井先生の貴重なお話に感銘を受け、今後の英語教育への思いを新たにしました。

合計で39名の参加があり、発表後は講師の先生と参会者との活発な議論が展開されました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The 1st Lecture Meeting of the 2013 academic year was held on July 13th at Imadegawa Campus, Doshisha University, with 39 participants. Much interest was generated by the presentation of Prof. Kiichi Fukui of the Graduate School of Engineering (Advanced Science and Biotechnology), Osaka University, who spoke from his wealth of experiences as a user of English in his professional activities. Professor Fukui specializes in nanomaterials/nanobioscience, applied genomics, and cell biology. In 2012, he was recognized by MEXT for his work on the development of an e-learning program of English for science and engineering. The program is available free of charge via the Osaka University Cybermedia Center.

■ 第52回国際大会のお知らせ ■

2013年8月30日から9月1日まで京都大学吉田キャンパスにて、第52回国際大会が開催されます。大会テーマは「英語教育の連携と相対化」です。皆様のご参加をお待ちしております。

大会テーマ: 英語教育の連携と相対化

開催日程: 8月30日(金)~9月1日(日)

開催場所: 京都大学吉田キャンパス

要旨:英語教育に期待される内容は近年大きく変化し、現在抱えている諸問題を解決するには、さまざまな隣接分野、関連分野とのより緊密な連携が求められている。同時に、これからの英語教育学会、とりわけ本学会が担うべき役割は何かを考えると、本学会を他の領域や学会と相対化して捉え直すことが求められている。そこで、本大会では「英語教育の連携と相対化」というテーマを掲げ、英語教育の新しい方向性についての議論を深める。

The JACET 52nd International Convention

- Theme: Collaboration and Relativization in English Language Education

- Date: August 30 (Fri) – September 1 (Sun), 2013

- Venue: Kyoto University, Yoshida Campus

- The expectations of English language education have been changing rapidly over recent years. In order to resolve the issues involved, closer collaboration is needed with related disciplines. There is also a need to reconsider the role of JACET in English language education based on relativization with respect to other related disciplines and organizations. The theme of “Collaboration and Relativization in English Language Education” expresses this aim to promote discussion of such issues in order to identify emerging trends in English language education. There will be 3 keynote lectures, 2 plenary symposia, 1 special workshop (British Council), 1 special symposium (Eiken), 1 symposium (Kansai Chapter), 2 workshops (Kansai Chapter), 9 invited lectures, 14 symposia, 5 workshops, 97 research presentations, 19 case reports, 7 sponsored presentations, 9 poster sessions, and 85 posters related to the fostering of human resources for a globally connected world. To search for ways to further develop language teaching in Japan, JACET will be holding discussions with representatives from the English Linguistic Society of Japan, the English Literary Society of Japan (ELSJ), Japan Society for Educational Technology (JSET), Japan Society of English Language Education (JASELE), the Japan Association for Language Education & Technology (LET), and the Japan Association for Language Teaching (JALT). Also, on August 31, there will be a Noh performance (“Introduction to Noh Theatre”) and, at the conference party, a chance to meet Kyoto maiko and geiko, who personify traditional Japanese hospitality.

Visit the 52nd International Convention URL
<http://www.jacet.org/2013convention/>

■ 2013 年度関西支部秋季大会のお知らせ ■

2013年度関西支部秋季大会は、11月9日（土）に神戸市外国語大学にて開催されます。8月1日よりWEBフォームからの発表応募がJACET 関西HPで開始されます (<http://www.jacet-kansai.org>)。発表募集の締め切りは9月25日（水）です。

昨年度に引き続き今大会においても発表枠を大幅に広げる予定です。学生会員も含め、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。招待講演では、根岸雅司先生(東京外国語大学大学院総合国際学研究院)による「言語テストの非透明性のインパクト」を予定しております。また、一つ目の企画ワークショップでは水本篤先生(関西大学外国語学部・外国語教育学研究科)による「EXCELを使ったt検定」、二つ目の企画ワークショップは今尾康裕先生(大阪大学言語文化研究科)による「オンラインで利用できるツール(ANOVA4)を使った分散分析(AVOVA)」を予定しております。そして、特別企画として「英語能力テスト最新事情」(T-SST, OPIc, CASEC, TOEFL, TOEIC, G-TELP, BULATS, IELTS, VERSANT, VELC) を全9社にご紹介頂く予定です。

The 2013 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held on Saturday, November 9th at Kobe University of Foreign Studies. There will be an invited lecture by Masashi Negishi (Tokyo University of Foreign Studies) on *The Impact of Nontransparency of Language Tests* and two invited workshops on *Using MS Excel for Performing a t-test* by Atsushi Mizumoto (Kansai University) and *Using an Online Tool (ANOVA4) for Performing Analysis of Variance (ANOVA)* by Yasuhiro Imao (Osaka University). There will also be a special event of presentations by nine companies on *Recent Trends in English Proficiency Tests* (T-SST, OPIc, CASEC, TOEFL, TOEIC, G-TELP, BULATS, IELTS, VERSANT, VELC).

We welcome presentation proposals from all members, including our student members. A web-based proposal form is available at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>) from August 1st. The submission deadline is September 25th (Wed). Come and share your work with the JACET community!

募集要領

この大会でのワークショップ・コロキウム・研究発表・実践報告・ポスター発表を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。

1. 発表は、英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
2. 発表者は、共同研究者も含めて、申込時にJACETの会員である必要があります。
3. 発表言語は、日本語または英語です。
4. 発表種別・時間に関しては、以下の通りです。
 ワークショップ：発表者は1名～数名。参加者によるタスク活動を含む。90分。
 コロキウム：発表者は数名。特定のテーマについての議論を行う。90分。
 研究発表：理論的、実証的な研究成果に関する発表を行う。30分（発表20分＋質疑10分）。
 実践報告：授業実践やカリキュラム改革に関する報告を行う。30分（発表20分＋質疑10分）。
 ポスター発表：研究・報告内容について発表し、参加者と自由に議論を行う。コアタイム60分。
5. 応募についてはJACET関西支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org>) の「発表申込」をクリックして頂き以下の応募情報を入力、または選択してください。

(応募情報)

- a) 発表形式：ワークショップ、コロキウム、研究発表、実践報告、ポスター発表の別
- b) 発表題目（日本語および英語）
- c) 発表者情報（共同発表者は氏名と所属のみ）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、E-mailアドレス
- d) 発表に使用する言語（日本語もしくは英語）
- e) 使用する機器（無い場合は「なし」を選択）

(発表要旨)

- a) 内容：「研究発表」の場合は、目的、仮説（リサーチクエスション）、研究方法、結果、考察を、「実践報告」の場合は、背景、具体的内容、実践結果に対する考察を簡潔に明記ください。「ワークショップ」「コロキウム」は目的、対象、手法を詳しく明記してください。「ポスター」の場合も扱う内容に応じ、これらに準ずることとします。いずれの場合も引用文献リストは要旨に含めません。
- b) 分量：日本語の場合は350字～400字、英語の場合は200～250 wordsとし、要旨末尾に字数ないし語数を丸カッコ書きで明記することとします。
- c) その他：母語以外の言語で要旨を作成する場合は、あらかじめネイティブチェックを受けた上で提出して下さい。
6. 応募の期限は、2013年9月25日（水）午後11時59分です。
7. 審査は、JACET関西支部研究企画委員会にて行います。

8. 審査結果は、締切り後2週間程度でE-mailにて通知します。またフィードバックを必要に応じて行います。

Call for Papers for the Kansai Chapter 2013 Fall Conference

JACET members are invited to present proposals for research papers, practical reports, poster sessions, workshops, and colloquia.

The conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) Prospective presenters (both representative presenters and collaborators) must be JACET members at the time of submission.
- 3) The language for presentation should be either English or Japanese.
- 4) Presentation types and time allotments are as follows:

Workshops: Presenter(s) will guide participants in specific tasks. 90 minutes.

Colloquia: Each presenter gives a presentation followed by discussion among the presenters and with the floor. 90 minutes.

Research papers: Presenter(s) will describe theoretical or empirical research. 30 minutes (20 min for presentation; 10 min for Q & A).

Practical reports: Presenter(s) will describe classroom activities or ELT curriculum innovation. 30 minutes (20 min for presentation; 10 min for Q & A).

Poster presentations: Presenter(s) will participate in one-on-one discussion of research or practical report using a poster. 60 minutes (core time).

- 5) To submit your proposal, please go to the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>) and click on "Paper Submission" to enter and select the following information.

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, practical report, poster session, workshop, or colloquium)
- b) Title of proposal (English and Japanese)
- c) Information about applicant(s): name, affiliation, e-mail address

※参加費：JACET 会員は無料。現在のところ、事前申し込みの必要はございません。

要旨などの詳細は、開催が近づきましたら支部 HP に掲載致しますのでご覧下さい。

JACET Kansai Chapter will hold two other lectures in this academic year as follows:

- 2nd lecture meeting by the ESP SIG on October 5, 2013 at Ryukoku University, Osaka Campus
- 3rd lecture meeting by the Study Group for Literature in Language Education on March 8, 2014, at Kwansai Gakuin University, Osaka Umeda Campus

Refer to details at the JACET Kansai Chapter home page (<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

■事務局便り■

支部会員向けの各種案内の配送やメールリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変更された方は、必ずご連絡ください。

事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACET へお届けになっているメールアドレスをご確認ください。

紀要、講演会案内フライヤー、ニューズレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、今一度ご確認ください。

なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局 (jacet@zb3.so-net.ne.jp) までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers or other personal information to **JACET headquarters** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).